

連加盟校各位
学校長様
PTA会長様

令和3年3月15日
全国肢体不自由特別支援学校 PTA 連合会
会長 澤村 愛

療育誌「はげみ」見本誌送付のお知らせ並びに
令和3年度年間購読者増に向けてのご協力をお願い

年度末となりお忙しい日々をお過ごしと思います。

私どもの大会に毎年来賓としてご出席いただいております日本肢体不自由児協会（以下 日肢協）様より表題の件ご依頼がありましたので、「日肢協」と「はげみ」について説明させていただきます。

日肢協を創設された整形外科医の高木憲次博士は、差別や偏見を排する表現として「肢体不自由」の概念と用語を提唱されました。また肢体不自由児を家庭に「隠す勿れ」運動を提唱され、肢体不自由児者の権利の尊重を日本の社会に訴えられました。肢体不自由児に対して医療・教育・職能を三つの柱とした「療育」という言葉と概念を提唱されました。

公立学校における肢体不自由教育の歴史は、日肢協の歴史と大きく重なります。高木博士は「肢体不自由児に治療と教育を」をスローガンに肢体不自由児施設、肢体不自由養護学校の全県設置を目標に掲げ、あらゆる側面から様々な活動を精力的に展開されました。日肢協は現在もこの理念のもとで「福祉よりも教育に重点を置いた事業」を行っておられます。

当時は施設・学校がまだまだ少なかったので、全国の在宅肢体不自由児（者）に対して、恒常的に指導・援護するための指導誌の刊行が提案されました。それが「はげみ」です。昭和30年5月に発行されました。医療のこと、訓練のこと、教育のこと、福祉制度のこと、しつけや生活にかかわる情報提供や、いろいろなテーマを、最近の動向にあわせて分かりやすく解説されています。歴代の全肢P連会長も、文科省特別支援教育調査官（肢体不自由教育御担当）や厚労省障害児支援専門官とともに編集委員に加わっています。インターネットの中では探す事ができない、貴重な情報も多く掲載されています。ここ数年の発行の中からいくつかの特集号を御紹介します。

- ・ 薬の知識
- ・ 災害に備える
- ・ 新段階の医療的ケア
- ・ 視線入力でらくらくコミュニケーション
- ・ 就労（さまざまな働き方）
- ・ 衣服の工夫
- ・ 学習や療育へのICTの活用
- ・ シンプルテクノロジー

B5判 年6回発行（偶数月） 1冊（バックナンバー含む）定価733円

年間購読料 4,180円（送料込み）

学校にもPTAにも役立つものと確信しております。是非皆さまにご購読いただけますよう、ご周知のご協力を宜しくお願いいたします。